

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東
 コード番号 3150 URL <https://www.gremz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

百万円未満切捨て

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	10,402	25.0	1,918	18.9	1,948	18.4	1,324	17.8
2021年3月期第2四半期	8,319	10.8	1,613	60.1	1,644	58.1	1,124	60.0

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 1,322百万円（17.4％） 2021年3月期第2四半期 1,126百万円（60.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	58.17	57.49
2021年3月期第2四半期	49.82	49.01

（注）当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	12,661	7,244	57.0
2021年3月期	12,919	6,016	46.5

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 7,222百万円 2021年3月期 6,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2022年3月期	—	5.00			
2022年3月期（予想）			—	9.50	14.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の配当金につきまして、中間配当金の内訳は、普通配当2.50円 市場変更記念配当2.50円、期末配当金の内訳は、普通配当9.50円 東証一部指定記念配当2.50円です。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,025	3.7	3,100	87.8	3,155	80.8	2,073	85.1	91.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	23,490,800株	2021年3月期	23,490,800株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	718,652株	2021年3月期	721,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	22,770,797株	2021年3月期2Q	22,577,805株

（注）当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外の経済活動が抑制されるなど、厳しい状況で推移しました。ワクチン接種の普及が進み、緊急事態宣言が解除されるなど持ち直しの動きが見られますが、半導体の供給不足や燃料価格の高騰などによる下振れリスクがあり、先行きは不透明な状況です。

当社グループの事業につきましては、コスト削減や省エネルギーを促進する商品・サービスを取り扱っていることから、景気の変動にかかわらず需要は安定しています。また、再生可能エネルギーの利用促進・脱炭素といった、環境にやさしく社会の潮流に合った商品・サービスの提案をすることで、事業者向け・一般消費者向けのいずれも受注は好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は10,402百万円（前年同四半期比25.0%増）、営業利益は1,918百万円（前年同四半期比18.9%増）、経常利益は1,948百万円（前年同四半期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,324百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

[エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、事業者のコスト削減や省エネルギー化のため、電力基本料金削減コンサルティング、各種省エネ設備の販売を推進し、顧客に電力の運用改善・設備改善などの提案をしております。また、前期から販売を開始した事業用自家消費太陽光発電システム、IoT機器は好調に販売を拡大いたしました。

その結果、売上高は2,597百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益は1,150百万円（前年同四半期比45.3%増）となりました。

[スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、再生可能エネルギーへの関心の高まりや、太陽光発電の10年間の固定価格買取制度の適用が終わる卒FIT案件の増加といった市場環境による底堅い需要がある蓄電池の販売を積極的に推進し、好調に販売を拡大いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言の発出もありましたが、催事販売への影響は軽微でした。

その結果、売上高は2,172百万円（前年同四半期比24.3%増）、セグメント利益は264百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

[小売電気事業]

小売電気事業につきましては、電力の調達改善を顧客に提案することにより、順調に受注を伸ばしております。前年同四半期については新型コロナウイルスの影響により電力需要が減少したことで電力調達価格が低下しましたが、当第2四半期累計期間については電力調達価格が安定したことで、結果的に前年同四半期に比べて利益率は低下いたしました。

その結果、売上高は5,633百万円（前年同四半期比33.2%増）、セグメント利益は860百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は10,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ595百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が925百万円、商品が49百万円、未収還付法人税等が246百万円、未収消費税等が47百万円減少した一方、売掛金が663百万円増加したことによるものです。固定資産は2,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が483百万円増加した一方、機械及び装置が29百万円、繰延税金資産が48百万円、敷金及び保証金が68百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は12,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,254百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が1,119百万円、未払金が237百万円減少した一方、未払法人税等が114百万円増加したことによるものです。固定負債は1,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が230百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は5,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,485百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,227百万円増加いたしました。これは主に、「収益認識に関する会計基準」の適用に伴う会計方針の変更により165百万円、親会社株主に係る四半期包括利益により1,322百万円増加した一方で、剰余金の配当により273百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,206,608	7,281,329
受取手形及び売掛金	2,349,392	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,012,982
商品	234,237	184,317
前払費用	85,991	88,143
未収還付法人税等	247,283	292
未収消費税等	47,156	—
その他	4,988	15,234
貸倒引当金	△10,184	△12,254
流動資産合計	11,165,473	10,570,045
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	106,062	105,982
機械及び装置（純額）	684,135	654,876
車両運搬具（純額）	23,837	24,681
工具、器具及び備品（純額）	89,627	92,333
土地	123,877	123,877
建設仮勘定	1,390	—
有形固定資産合計	1,028,930	1,001,751
無形固定資産		
ソフトウェア	13,902	11,548
無形固定資産合計	13,902	11,548
投資その他の資産		
投資有価証券	219,219	702,990
繰延税金資産	126,343	77,919
敷金及び保証金	331,139	262,424
その他	34,169	34,323
投資その他の資産合計	710,872	1,077,658
固定資産合計	1,753,705	2,090,958
資産合計	12,919,179	12,661,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319,662	2,200,175
1年内返済予定の長期借入金	537,451	471,069
未払金	588,162	350,717
未払法人税等	492,027	606,869
未払消費税等	222,310	209,648
預り金	15,827	91,784
その他	29,413	19,980
流動負債合計	5,204,854	3,950,244
固定負債		
長期借入金	1,620,780	1,390,160
資産除去債務	76,310	76,443
その他	257	36
固定負債合計	1,697,348	1,466,640
負債合計	6,902,202	5,416,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,874	640,874
資本剰余金	381,992	380,937
利益剰余金	5,473,295	6,690,445
自己株式	△487,831	△486,208
株主資本合計	6,008,330	7,226,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,853	△3,967
その他の包括利益累計額合計	△1,853	△3,967
新株予約権	10,498	22,036
純資産合計	6,016,976	7,244,118
負債純資産合計	12,919,179	12,661,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,319,295	10,402,983
売上原価	4,921,938	6,601,482
売上総利益	3,397,357	3,801,500
販売費及び一般管理費	1,783,561	1,883,370
営業利益	1,613,796	1,918,129
営業外収益		
受取利息	40	36
受取配当金	10,415	—
受取手数料	13,362	15,510
助成金収入	3,330	20,852
その他	6,455	3,573
営業外収益合計	33,604	39,973
営業外費用		
支払利息	2,241	2,965
支払手数料	—	6,217
その他	293	748
営業外費用合計	2,534	9,931
経常利益	1,644,865	1,948,171
特別利益		
固定資産売却益	11	35
特別利益合計	11	35
特別損失		
固定資産除却損	589	4,817
固定資産売却損	403	605
特別損失合計	992	5,423
税金等調整前四半期純利益	1,643,884	1,942,784
法人税、住民税及び事業税	488,337	656,589
法人税等調整額	30,738	△38,345
法人税等合計	519,076	618,244
四半期純利益	1,124,808	1,324,540
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,124,808	1,324,540

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,124,808	1,324,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,418	△2,113
その他の包括利益合計	1,418	△2,113
四半期包括利益	1,126,226	1,322,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126,226	1,322,426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,643,884	1,942,784
減価償却費	56,313	54,349
株式報酬費用	—	12,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	573	2,070
受取利息及び受取配当金	△10,455	△36
支払利息	2,241	2,965
固定資産除売却損益 (△は益)	980	5,387
売上債権の増減額 (△は増加)	△270,552	△150,267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△123,313	49,920
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,515	47,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	238,791	△1,303,344
未払金の増減額 (△は減少)	△83,519	△286,051
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△35,575	△42,704
その他	△85,212	93,287
小計	1,345,672	427,619
利息及び配当金の受取額	13,357	36
利息の支払額	△2,137	△2,851
法人税等の支払額	△431,452	△331,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	925,439	93,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△600,000
投資有価証券の売却による収入	200,482	113,182
有形固定資産の取得による支出	△18,563	△30,598
無形固定資産の取得による支出	△2,318	—
敷金及び保証金の差入による支出	△26,019	△158
敷金及び保証金の回収による収入	21,663	68,898
その他	13	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー	175,259	△448,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△223,394	△297,002
株式の発行による収入	41,500	—
ストックオプションの行使による収入	0	2
配当金の支払額	△214,193	△272,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,086	△569,925
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	704,611	△925,279
現金及び現金同等物の期首残高	4,176,111	8,206,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,880,723	7,281,329

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、当社グループでは主に小売電気事業における電力料金収益及び関連する託送料金相当額の計上方法を変更しております。

小売電気事業においては、各顧客に設置されている電力メーターの検針により販売電力量を確定し電力料金を計算しており、その確定検針手続は、エリアや契約種別等により分割した顧客グループごとに循環的に実施しております。「収益認識会計基準」適用前の会計処理は、確定検針データに基づき請求金額が確定した時点で収益を認識しておりましたが、同基準の適用により、請求金額が確定した時点ではなく、電力の供給に応じて会計期間に対応した電力料金収益を算定して収益を計上しております。託送料金相当額についても同様に検針期間ではなく、会計期間に対応した費用を計上しております。

「収益認識会計基準」の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37,380千円増加し、売上原価は24,199千円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ61,579千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は165,847千円増加しております。

「収益認識会計基準」を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、「収益認識会計基準」第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替を行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、「時価算定会計基準」が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,341,689	1,747,413	4,230,192	8,319,295
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,341,689	1,747,413	4,230,192	8,319,295
セグメント利益	791,916	168,545	998,457	1,958,919

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,958,919
全社費用(注)	△345,123
四半期連結損益計算書の営業利益	1,613,796

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,597,391	2,172,558	5,633,033	10,402,983
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,597,391	2,172,558	5,633,033	10,402,983
セグメント利益	1,150,440	264,155	860,647	2,275,242

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,275,242
全社費用（注）	△357,112
四半期連結損益計算書の営業利益	1,918,129

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。